

9月
八幡市
議会

水道料金下げしてほしい

与党派など市民の切実な願いに背を向ける 料金値下げ請願に賛成は日本共産党だけ

◆1人暮らしの人…「値上げ前は4000円代だったのが値上げ後は6000円になった」。◆他市から引っ越してきた20代夫婦…「引っ越し前は4000円代だったのが八幡市に来て2倍の8000円になった」。

八幡市が4月から平均17%の値上げをした上下水道料金。市民の方から、悲鳴の声が上がっています。使用水量が少ないほど値上げ幅は大きく、所得が少ない家庭ほど負担感は重くなっています。

さらに所得が少ない家庭や、非課税のひとり親家庭、重度障害児などを対象に上下水道料金の基本料金を軽減してきた福祉減免も2020年度までに2段階で廃止します。

こうした「水道料金の値上げ、基本料軽減制度の廃止をやめてほしい」と、市

低所得者への基本料金減免も

民の方から請願署名(署名数759筆)が市議会に提出され、21日の都市環境常任委員会、26日の本会議で審議されました。

議会のあり方問われる

しかし、日本共産党が紹介議員となり、請願採択にがんばりましたが、賛成したのは日本共産党(4人)だけ。他の党派、無所属議員は賛成せず、不採択となりました。請願に反対した議員は反対討論で、水道料金値上げは「最良の打開策」などと述べました。市民の声を生かすのが議会の大事な役目です。市長の提案ならなんでも賛成する議会では、市民の声は市政に届きません。

日本共産党は、国政でも地方政治でも、憲法を生かして、平和、暮らしを大切に
する政治めざしてがんばります。

森下府会議員が代表質問

南部・精華町で
本会議開かれる



代表質問する森下府議＝20日、精華町けいはんなプラザ

20日、府南部の精華町けいはんなプラザで開かれた京都府議会、日本共産党の森下よしみ(八幡選出)、馬場こうへい府議(伏見区選出)が代表質問しました。

森下府議は、大阪北部地震における八幡市など府南部の被害への支援を取り上げました。大阪北部の市町では災害救助法などが適用される一方、枚方市に隣接する八幡市では1900件を超す住宅被害があっても適用されなかったと指摘し、府と市に改善を迫りました。府知事は支援法について「国に強く要望する」と答えましたが府の制度の拡充には触れませんでした。